

勸善懲惡錦画新開

第二十號



京都府下上京第十區中賣  
 上福寺上佐々木清次良小倉地  
 織之職業は下職人多き其  
 中上京第七區笹屋町堀分  
 森宗吉は當九年三月  
 同第十五區中賣通中嶋  
 徳次良の女おまつといふものハ  
 當四十二年十一月より  
 此兩人三四年來より  
 佐々木  
 の方  
 織子と云  
 縁は深く  
 別れて深  
 けり宗吉は病身もあて十  
 分は縁さしけりおまつも常々  
 辛勞はいつく思ひつゝ居りけ  
 り六月三日兩人とも大阪下り  
 所々見物はつゞ金子も遣ひん  
 京へ歸りて歸りて死ぬ外は  
 うはと思ふより兩人覺悟を極  
 て川の運上所の門さへ書置と  
 認め天神橋より投身せし巡吏  
 又見付る幸ひは命助り京都  
 府へ送られしといふ者ありや  
 あまりの無分別さや

時習舎編輯

時習舎

新聞局

本町四丁目  
 藤井時習舎

勸善懲惡錦画図解20号 文庫10-8072-9

早稲田大学図書館蔵 / Waseda University Library

